

## 編集後記

あつという間に、8号に達したという感じである。関連分野の学術雑誌にも数多く当該雑誌の掲載論文、翻訳が引用されるにつけ、その重要性は高いものと、少々自負している。いずれもご寄稿いただいた論文の質が高いことや、翻訳の選択がうまくなされているからであると、本当にいつもながら寄稿者の方々に感謝しています。

今回の論文3本はいずれも重厚な出来栄であり、なんと原稿用紙にすれば、90枚から150枚という、大部なものとなっている。たぶん、本雑誌の最大の取り柄は、この枚数制限がないということにある。枚数制限なるものが、質の高い論文を生むとは必ずしも言えないが、その制限のあるレフェリーつき〇〇学雑誌に掲載することが、博士号取得への最短距離であると評価されている。通過儀礼であるといってしまうと、それまでであるが、地理学においては、主要雑誌が一律同じ枚数制限という横並びには、少し解せないものがある。それぞれの雑誌の編集方針をもう少しはきり出すべきではないか。学術会議でも地理学、人文地理学とはっきりわかれてしまった今日、人文地理側ではもう少し特色のある、印刷書体も含めて魅力ある紙面構成を考えてもよいのではないかと思うこともある。登竜門としての学術雑誌としては、この枚数制限はやむを得ないとは思いつつ、もう少しバラエティある雑誌の刊行を、それぞれの編集委員会議はハッとするような「奇策」を打ってみられてはいかがでしょうか。

と、また生意気なことを言ってしまったが、次の9号では、この出版母体である、山野正彦科研「ポストモダンの景観論・空間論における「文化的転回」の影響とその評価に関する研究」の研究グループの活動方針に即した、論文集、翻訳特集を、大々的に組んでみたいと思っている。すでにいくつかの翻訳候補論文はあがっている。ぜひとも、ご寄稿をおまちしている次第です。もちろん、それらと関係のない論文でも結構です。下記のメール宛にご打診いただければ幸いです。

今回も、花野孝史に編集に多くの助力をいただきこと、お礼申し上げたい。PDFでの閲覧は、下記URLを参考にしてください。

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/books.htm>

水内 俊雄

---

## 空間・社会・地理思想 第8号

発行日／ 2003年10月31日

編集／ 水内俊雄・花野孝史

発行／ © 大阪市立大学大学院 文学研究科 地理学専修

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

電話 & ファックス 06-6605-2406

振替 00960-9-72384

(加入者名：大阪市立大学地理学教室)

[mizuuchi@lit.osaka-cu.ac.jp](mailto:mizuuchi@lit.osaka-cu.ac.jp)

[http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/intro\\_mizuuchi.htm](http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/intro_mizuuchi.htm)

印刷／ ホウユウ株

〒590-0982 堺市海山町 1-8-4

電話 072-227-8231 ファックス 072-224-1466

---